

2023 年度 出前授業メニュー

表現文化学科

■西大寺のはじまりと奇跡の物語

『備前国西大寺縁起絵巻』（室町時代原作）には、西大寺のはじまりと数多の奇跡が表現されています。その詞と絵から、当時の人々の信仰をのぞいてみます。

担当：川崎 剛志（教授 担当科目：日本文学 他）

■ゲームプログラミング入門

私は元コンピュータゲームクリエイターです。小中学校のプログラミング教育でも使われるブロック型のビジュアルプログラミング言語「Scratch」を使って、ストーリー性のあるゲームを作ってみましょう。他にも、AI に機械学習させる体験や学習させた AI を使ってプログラムを組むワークショップなども実施可能です。（出前授業はコンピュータ教室での実施を想定しています。）

担当：中西 裕（教授 担当科目：プログラミング入門 他）

■身体で伝える 身体が語る

国籍を問わず誰もがもつ身体。身体は時に饒舌で、うまく言葉にならないときや、もどかしく通じ合えない場を一転させる力をもっています。簡単な即興ワークを楽しみながら、自らと他者の身体で交換されるエネルギーを観察し、味わってみましょう。

担当：岡本 悦子（教授 担当科目：表現創造 他）

■無限の哲学

私は哲学者です。特に「無限」について研究しています。無限とは「限りがない」ということです。私たちは人間です。人間は有限です。有限なものは無限なものに関わることができるのでしょうか。たとえば無限を半分に割っても、割られた半分は無限のままです。つまり、無限から有限はできません。同じく、有限から無限はできません。はたして有限と無限は出会えるのでしょうか。そんなことをみなさんといっしょに考えていきます。

担当:松本 潤一郎（教授 担当科目：言語表現史 他）

■近世大名家の宝物と近代博物館の資料をつなぐもの

江戸時代に岡山藩主池田家が所蔵していた膨大な宝物類が、明治時代以降にどのように管理され、そして近代博物館の資料となっていったのかについて、池田家に伝来した国宝「太刀 銘備前国包平作」（大包平）や重要文化財「信長記」などの例から考えます。

担当:浅利 尚民（准教授 担当科目：日本美術史 他）

■岡山方言って何じゃろ？

皆さんは普段無意識に方言を使って生活しています。この授業では、他の方言との比較した岡山方言の特徴や、昔と今の岡山方言との違いなどを通して、「普段使いの言葉」を深く掘り下げます。無意識の言葉に意識を向けてじっくりと観察してみましょう。

担当：岩田 美穂（准教授 担当科目：日本語学 他）

■『源氏物語』のことば

『源氏物語』には美しいことばや優れた表現がたくさん出てきます。これらはすべて作者が考えたオリジナルなののでしょうか？ オリジナルでないとすると、どういう人が使っていたことばなのでしょう？そのような視点で『源氏物語』のことばを見ると、物語の解釈まで変わってきます。「ことば」に焦点をあてながら、『源氏物語』の魅力にふれてみましょう。

担当：瓦井 裕子（准教授 担当科目：日本文学 他）

■小説の仕組み

評論文に比べて、小説が〈読みにくい〉と感じる方もいるのではないのでしょうか。

恐らくそこには、〈小説は主観的にしか読めない〉という思い込みが関係しています。

この授業では、小説を成立させている〈仕組み＝論理〉について考えることで、そうした思い込みを解きほぐしたいと思います。

担当：坂 堅太（講師 担当科目：日本文学 他）

■豊臣秀吉を文学で

「えっ、秀吉って歴史じゃないの!？」 そう思う方は多いかもしれません。でも、源義経は「歴史」で習っていても、『平家物語』なら「国語」で習いますよね。同じように、秀吉も文学的に「読む」ことができます。歴史とはまた異なる、文学の幅広さを紹介していきます。

担当：竹内 洪介（講師 担当科目：日本文学 他）

実践英語学科

■アメリカ文化と音楽

アメリカの代表的な音楽を紹介し、それについての背景を説明します。また音楽を使い、英語のゲームを行います。

担当：ローレンス・ダンテ（教授 担当科目：英語教育 他）

■多義語の問題

ひとつの英単語に複数の意味があることはよくあります。その意味と意味の関係はどうなっているのかを考えてみたいと思います。

担当：小田 希望（教授 担当科目：英語学 他）

■通訳の世界へようこそ

通訳とはどのような仕事でしょうか？英会話や翻訳との違いは何でしょうか？奥の深い通訳の世界を、実際に携わった仕事のエピソードを交えながら、楽しく体験してみましょう。

担当：武部 好子（准教授 担当科目：通訳・翻訳 他）

■英語の姿かたちを削り出す

英和辞典でひとつの語の使い方を観察すると、英語を母国語とする人々がその語の姿かたちをどのように捉えているのかが見えてきます。英和辞典を片手に、その姿かたちを捉えてみましょう。

担当：西谷 工平（准教授 担当科目：英語学 他）

■外来語（Loan Words）

外来語が全て英語だとは限りません。日本語で使われている外来語を例に挙げて、その外来語がどこの国の言葉なのかを予想し、英語ではどのように言うのかを学習します。

人数制限：なし 授業対応：対面・リモート

担当：デイビッド・タウンゼンド（准教授 担当科目：英語コミュニケーション 他）

総合歴史学科

■実在しない天皇

日本史に関する本の中に「〇代●●天皇」との表記が見られます。神武天皇から数えた代数を示していますが、果たしてどれだけの天皇が実在したのでしょうか。「作られた天皇系譜」というテーマで古代の歴史を考えてみたいと思います。

担当：鈴木 琢郎（准教授 担当科目：日本史 他）

■中世の荘園を理解する

高校の日本史でも難しいとされる荘園の成り立ちやしくみについて、具体的な例をあげながら、わかりやすく解説します。高校の周辺にあった荘園や、そこで活躍した武士団についても言及します。

担当：苅米 一志（教授 担当科目：日本史 他）

■近世都市大坂における庶民の暮らし

江戸時代には、親孝行な人物や忠勤な奉公人がしきりに褒賞されました。その関連史料からは、様々な職業にたずさわりながら日々を送る庶民の姿が見えてきます。これらを利用して、男性と女性のライフサイクルを具体的に考えてみたいと思います。

担当：三田 智子（准教授 担当科目：日本史 他）

■ヨーロッパの中世の人々の日常をのぞく

国王・皇帝・政治・外交・・・そんな国と国とのやり取りとは程遠いところで生活していた中世ヨーロッパの一般住民の思想や生活習慣について、同時代の主に文字史料を用いて解説します。

担当：小林 亜沙美（准教授 担当科目：ヨーロッパ・アメリカ史 他）

■出土文字資料よりみる秦の始皇帝

秦の始皇帝の実像や当時の政治・社会の特色について、最新の出土文字資料（竹簡・木簡など）を用いて解説します。

担当：渡邊 将智（准教授 担当科目：アジア史 他）

■イスラームを知ろう

ノーベル平和賞受賞者マララ・ユースフザイさんはなぜテロにあったのか、という問いから始めて、現代のイスラームについて女性の視点を交えて考えましょう。

担当：井上 あえか（教授 担当科目：アジア史 他）

■日本人と温泉の関わり

日本人にとって温泉は最も身近な観光資源と言っても過言ではありません。日本人はどのように温泉を利用してきたのでしょうか。温泉地の形成という視点から考えてみたいと思います。

担当：中山 穂孝（講師 担当科目：地理学 他）

初等教育学科

■おもしろ理科実験&工作

身近なものを使って簡単な理科実験や工作を楽しんでみましょう。大人も子どももサイエンスレンジャーがコツを伝授いたします。

担当：福井 広和（教授 担当科目：理科教育法 他）

■国語の授業をつくってみよう

小学校の国語の教科書教材を取りあげて、その授業をつくる手順やコツを教えるので、それに沿って、自分で1時間の授業案をつくったり先生を演じてみたりしませんか。

担当：丹生 裕一（教授 担当科目：国語科教育法 他）

■ムカッ！としたとき

皆さんはちょっとしたことで腹をたて、人との関係を悪くしたことはありませんか？腹が立ったとき、うまく気持ちをコントロールし相手に自分の思いをきちんと伝えるにはどうしたらよいか一緒に考えてみませんか。

担当：岡田 信吾（教授 担当科目：知的障害児教育 他）

■記憶の心理学

ひとくちに「記憶」といっても、さまざまな種類の「記憶」があります。この講座では、ワーキングメモ

モリの性質を学びます。そして、それらをふまえた学習支援のコツを考えましょう。

担当：原 奈津子（教授 担当科目：教育心理学 他）

■幼児の造形「表現」とは

子どもの造形活動は、大人のそれとは目的が大きく異なります。「表現」という視点を大切にして、子どもの造形を体験してみましょう。

担当：藤田 知里（准教授 担当科目：図画工作 他）

■桃太郎像の変遷

皆さんおなじみ桃太郎。明治時代以降、桃太郎は理想の若者・子どもとして、教科書や絵本等のメディアでとりあげられてきました。その変化を追うことで、社会が子どもに何を求めてきたかを探ります。

担当：渡邊言美（准教授 担当科目：教育学概論 他）

教育心理学科

■自律神経のトリセツ

あなたは、朝起きにくいとか、腹痛や頭痛などに悩まされていませんか？それらは、自律神経の乱れによるものかもしれません。自律神経のトリセツを学んで、快適な日々を過ごしましょう。

担当：森口 清美（准教授 担当科目：小児保健・学校救急処置 他）

■私って誰だろう？—こころの不思議

私たちは日常「私が私であること」を当たり前だと思っています。この講座では「私って誰だろう？」という問いについて考えていきます。こころの不思議について考える臨床心理学の入り口を探索してみましょう。

担当：桑原 晴子（教授 担当科目：心理検査法実習・臨床心理学概論 他）

■「勉強」を心理学してみよう

皆さんの学校生活の中で多くの時間を占める「勉強」ですが、自分に合った勉強の取り組み方はどのようにすれば見つけられるのでしょうか？心理学の視点から「勉強」について改めて一緒に考えてみましょう。

担当：山西 健斗（助教 担当科目：心理検査法実習 他）

■健康とは何か？

「健康」とは、私たちが日常的によく使う言葉で、だれもが関心をもちやすい話題ですが、考えてみれば実に抽象的で説明しづらい概念です。「健康」や健康教育の考え方について改めて一緒に考えてみませんか？

担当：加納 亜紀（准教授 担当科目：学校保健 他）

■悩んだときの心構え

悩みは人によって異なるものであり、だからこそ、悩みには自分の心が表れてくると言うことができます。悩みの正体を知り、対処していくための心構えについて、臨床心理学の観点から考えていきましょう。

担当：井芹 聖文（准教授 担当科目：カウンセリング概論 他）

経営学科

■日本の食料自給率と世界の食料問題

日本は食料自給率が低くても仕方がない要因をもっています。この要因を解説するとともに、1960 年以降、食料自給率が低下した要因を解説します。そして、この低下した要因が開発途上国の食料不足・栄養不足と関連していることを解説して、われわれの食生活を考えます。

担当：古塚 秀夫（教授 担当科目：農業経済学 他）

■データサイエンス入門

データサイエンスは、現代のビジネス社会に生きる上での必須スキルとなってきました。本講では、身近な事例や企業での事例を紹介しながら、統計データやグラフを使って、現状を理解する・問題解決のヒントにする・他人を納得させる・新たな価値ある情報を生み出すといったデータサイエンスの威力をわかりやすく解説します。

担当：林 俊克（教授 担当科目：価値開発工学論 他）

■観光学入門

人はなぜ旅に出るのでしょうか。古来より、人はさまざまな理由や目的で居住地を離れ、移動することをしてきました。グローバル化を迎えたこんにち、国境を越えて移動する人の数はますます増加傾向にあります。この講義は観光学の入門として、観光の現状と新たな動向を紹介します。特に観光者である『ゲスト』の行動に着目しその動機づけと、観光者を迎える地域や社会といった『ホスト』とのインタラクティブな関係について、文化人類学的な視点で考察を試みます。それを通じて、観光者にとって魅力ある観光地とはどのようなものかを考える方法としての基礎的な知識を紹介します。

担当：八巻 恵子（教授 担当科目：観光マネジメント他）

■経営組織論入門～良い組織をつくるには？～

高校のビジネス基礎の授業などではあまり扱わない「組織論」を取り上げます。

「組織とは何か？」「良い組織を作るためには何を考えるべきか？」などについて

生徒の皆さんと一緒に考えたいと思います。

担当：日高 靖和（教授 担当科目：経営組織論 他）

■岡山県の経済動向

社会人生活を過ごすうえでは、会社だけではなく個人の生活においても、お金の問題は必ず関係します。社会経済生活を過ごすうえで、経済との関わり合いは避けては通れません。岡山県の経済動向を例に身近なお金の話に加え、仕事に関わる大きな経済の動きについて、解説します。

担当：宮前 善充（教授 担当科目：マクロ経済学、経済学概論 他）

■日本の雇用の現在と将来

企業にとって、優れた従業員を確保することは重要な課題です。この講義では、①従来の日本の企業ではこの課題に取り組むために、従業員をどのように採用・育成しようとしてきたのか、②そのあり方は他国とどのように違っていて今後どのように変わっていくと考えられるのか、雇用や働き方に関する現状とその特徴を解説します。

担当：堀 圭介（准教授 担当科目：経営管理 他）

■管理会計と企業管理

会社が生き残るために「もうけ」は欠かせません。では、もうけを出すために、会社はどのような工夫をし、そのことに会計はどう関わってきたのでしょうか。また、社会が変化していく中で、これからの会社を支援する会計のしくみはどのようなもののでしょうか。管理会計の視点から考えます。

担当：鈴木 新（准教授 担当科目：管理会計 他）

■市場競争ってどんなもの？：経営戦略論入門

競争という言葉には、勝者だけでなく敗者も生まれるという点で、何となくネガティブな印象もあるかもしれません。しかし、「企業」の向き合う「市場競争」は、学校の徒競走や受験競争のような単純な順位付けを争う一面的なものではなく、より多面的で驚きに満ちたものです。この講義ではそうした市場競争の現実のありようについて、具体例を交えながら講義します。

担当：大倉 健（准教授 担当科目：経営戦略 他）

■家電流通史から見るタテの競争

企業間競争という場合、同種の製品を作る企業同士が製品の機能や価格などで優劣を競っていること（ヨコの競争）をイメージされることが多いのではないのでしょうか。本講義では、家電流通の歴史を題材に、取引相手との利益の奪い合いの在り方がどのように変遷してきたのか（タテの競争）という点を中心に検討していきます。

担当：青山 允隆（准教授 担当科目：商業学 他）

■よい企業の特徴とは

「よい企業とはどのような企業か」と問われた時、皆さんは何と答えますか。一昔前までは「利益を多く稼ぐ企業」がよい企業だとされてきましたが、現在では少し状況が変わってきました。もちろん「どれくらい稼いだか（結果）」という点は企業として重要ではありますが、これに加えて「どのように稼いだか（プロセス）」という点がより一層大切になってきています。近年では、SDGs への関心も高まっていま

すが、本講義ではそのような時代における「よい企業の条件」を考えてみたいと思います。

担当：大塚 祐一（講師 担当科目：企業倫理、企業と社会 他）

■会社はどんなことにお金を使っているの？－財務諸表から企業の活動を読み取る－

大きな会社は、様々な人々からお金を提供してもらって様々な活動を行っています。たとえば、車を買っている会社であれば、車を作るのに必要な材料を仕入れて、材料を加工し、それを組み立てて、車が完成したら、その車の宣伝をして、ショールームで車を販売していますよね。世の中には様々な会社があるので、行っている活動も色々あります。会社の活動の元手となるお金が、実際に会社でどのように使われているのかは、皆さんにとっても気になるところではないでしょうか？実は、会社がどのようにお金を使ったかは皆さんでも知ることができます。この講義を通じて、ある会社でどのようにお金が使われたのか、自分で読み取れるようになることを目指します。

担当：増子 和起（講師 担当科目：財務会計 他）

■マーケティング・リサーチ入門

企業が効果的なマーケティングを行うためには、消費者の選好・行動などを調査・分析し、うまくいくための手がかりを得ることが重要です。そこで、仮説を立てて、データを集めて分析し、企業経営に役立てていく方法について考えます。

担当：古安 理英子（講師 担当科目：マーケティングリサーチ入門 他）

■講義名：多国籍企業論

近年、これまで以上にグローバル化を進めていく必要性が高まっています。本講では、海外で事業展開をしている企業の簡単な事例を取り上げ、ビジネスの最前線で起きる様々な問題を発見し、経営課題の形成と、問題解決を目指します。

担当：洪 性奉（講師 担当科目：国際ビジネス入門 他）

■講義名：備前児島野崎家の塩業経営史

創業から約 2 世紀にわたる野崎家（現ナイカイ塩業株式会社）の塩業経営を歴史的観点からひもときます。

担当：小柳智裕（講師 担当科目：経営史入門 他）

■講義名：問題の整理と課題解決のアイデアを生み出す思考発想法

クロス SWOT 分析、KJ 法、ブレインストーミングなど、物事や問題、事業を論理的かつ多角的に整理し、課題解決の方向性を導き出す方法を、実際に演習を行いつつ紹介します。

担当：千田雅之（教授 担当科目：思考発想法入門 他）

■講義名：中小企業の事業戦略

市場動向の変化が著しいなかで、経営資源に制約がある中小企業経営の成功要因を事業戦略の視点で探っていきます。成長を続けるための新規事業ならびに新たな販路開拓や営業拡大について、ケースと理論からわかりやすく学んでいきます。

担当：須佐淳司（教授 担当科目：中小企業論、サービスマーケティング論、地域マーケティング論）

薬学科

■ストレスを客観的に診断する

普段何気なく「ああ、疲れた！ストレスが溜まった！」と口にしますが、どれだけストレスが溜まっているのでしょうか。ストレスは様々な病気の引き金になるので、ストレスの程度を客観的に知ることは、病気の予防に繋がります。大学では、ストレスに応答する唾液中の微量バイオマーカーを高感度分析する方法を開発しています。本授業では、ストレスの発症機構や疾患との関連、どのような診断法があるのかなど、我々の研究を含め紹介し、希望者には簡易測定器でストレスレベルをチェックしてもらいます。

担当：片岡 洋行（教授 担当科目：臨床分析技術 他）

■「輝く」分子を目指して

化学では分子を取り扱います。分子は小さくて目には見えませんが、いろんなカタチをもっており、カタチに応じた特技をもっています。中には、「輝く」特技をもつものもあります。本授業では、化学の歴史を簡単にたどり、化学・分子の潜在能力を紹介します。

担当：山本 浩司（講師 担当科目：有機薬化学 I、無機化学 他）

■抗インフルエンザ薬、タミフルはどのようにして誕生したのか？

薬を創ることの難しさを解説しながら、インフルエンザウイルスの増殖を抑える薬であるタミフルがどのようにして効果を示すのか、そのメカニズムの解説とその誕生の経緯について紹介します。

担当：平岡 修（教授 担当科目：生物系薬学 他）

■脳科学入門

脳科学は、脳の機能と病との関連性に焦点を当てた学問です。脳は世界をどのように見て、認知・記憶しているのかなど、脳の高次的な機能をわかりやすく解説します。また、脳の発達と老化ならびに精神・神経疾患との関連性について紹介します。

担当：末丸 克矢（教授 担当科目：公衆衛生学 他）

■タバコは「どれだけ」体に悪いのか

タバコが体に悪いことは常識ですが、どの程度悪いのでしょうか。人の体は毒から身を守る仕組みをもち、少しなら大丈夫なことが多いのですが、タバコにはこれがあてはまりません。ほかの例も合わせて毒と体の関係を紹介します。

担当：渡辺 雅彦（教授 担当科目：環境衛生学 他）

■先端科学が切り拓く未来の医療

古来より、医療には時代に即した最先端の科学技術が取り入れられてきました。現在も画期的な治療法の開発や薬づくりを目指して、世界中で様々な手法が積極的に活用されています。疾病の克服や治療薬の開発に向けて奮闘してきた先人達の足跡をたどるとともに、これからの医療について紹介します。

担当：森 秀治（教授 担当科目：薬理学，薬物治療学 他）

■知ってほしい！薬物乱用の怖さ

薬物乱用は心身を著しく害し、本人だけでなく家族や周囲の人達にも多大な悪影響を及ぼします。薬物乱用防止教育の観点から、薬物依存に至るメカニズムや症状を中心に簡単な実験を織り交ぜながらお話します。

担当：加地 弘明（准教授 担当科目：薬局管理学 他）

■知っておきたい薬のあれこれ

飲み合わせってなに？副作用はどうして起こるの？病気は薬で治すことが多いですが、よく分からないことも多いのではないのでしょうか。知っておくと医師・薬剤師の話がよく分かる、そんな、大人になっても役立つ薬の舞台裏を分かりやすくお話します。

担当：田坂 祐一（講師 担当科目：調剤学 他）

幼児教育学科

●『これからの時代を生きていく君たちに必要なこと』（キャリア教育）

「働くって何？」「生きるって何？」日々、疑問をもちながらも解決できないまま悶々と暮らしている高校生たちも多いもの。進路についても、ついつい「行先選び」になってしまい、自分のすばらしさに基づく「生き方」や「使命」が見えないままになりがちな多くの生徒たち。人間はみんな一通の封書を以て生まれてくる。君は君にしかできないことがあるから生まれてきたのだ。さあ、君の可能性を開花させる学びを始めよう!! スイッチをオン!!

担当：小谷彰吾(教授 担当科目：教師論，教育原理，教育行政論，幼稚園実習)

●『社会福祉の国家資格と仕事』

現在、社会福祉の資格は多くありますが、国家資格といえるは「保育士」、「社会福祉士」、「介護福祉士」、「精神保健福祉士」の4資格です。また、最近では「子ども家庭福祉士(仮称)」の資格の導入も検討されています。これらの国家資格の取得の仕方と仕事の内容や職場について説明します。皆さんのキャリア学習の参考にして下さい。

担当：土田耕司(教授 担当科目：社会福祉 子ども家庭支援論 社会的養護 他)

●『アート入門（造形ワークショップ）：ようこそ！2000年後の世界へ』

私たちの身近にある日用品が2000年後に発掘されたら、一体どうなっているのでしょうか。

2000 年後の未来を想像しながら、身近な物を「紙の化石」にしてみましょう。

※約 20 人（最大 24 人）までのワークショップ形式、材料費等については要相談。

※場所：本学美術教室（T408）

担当：柴川敏之（教授、現代美術家 担当科目：子どもと造形Ⅰ・Ⅱ、保育内容「表現」の指導法Ⅲ他）

●『赤ちゃんを学び、保育を楽しむ！』

知れば知るほどその魅力に引き込まれていく赤ちゃん。ただ可愛く守られるだけの存在ではなく、様々な力を有し、周りの環境に能動的に働きかけています。本講義では、脳科学の進歩等でわかってきたことも含めて赤ちゃんについて学びましょう。

担当：三好 年江（准教授 担当科目：保育原理、乳児保育、子育て支援、保育所実習 他）

●『心をくすぐる絵本の読み聞かせ』

子どもの頃に絵本を読んでもらった記憶があるな、お気に入りの絵本もあったな…。でも絵本は子どもだけのもの？ 子どもから大人まで、絵本は心を豊かにしてくれます。絵本の読み聞かせを通して、絵本の楽しさ、面白さを再発見しましょう。

担当：六車 美加（准教授 担当科目：保育内容総論、児童文化、幼稚園実習 他）

●『ヴォイス・トレーニング入門』

いつも明るく人を惹きつける話し方ができたら…。もっと表情豊かにのびのびと歌うことができたら…。この講座では、魅力的な声を作るためのレッスンをを行います。良い発声のために必要な姿勢作りや、自宅で気軽にできる筋力トレーニングを実践し、心も身体もリフレッシュしましょう！

担当：ズビャーギナ章子（准教授 担当科目：幼児と音楽Ⅰ・Ⅴ 他）

●『乳幼児の運動あそび』

寝ているだけの赤ちゃんでも、遊びを通して体を動かしてあげることで、気持ちよさを感じたり、体が動きやすくなったりします。子どもの運動の必要性を学びながら、子どもと一緒にできる運動あそびを実践しましょう。

担当：松本 希（准教授 担当科目：幼児と健康、身体表現、幼児と表現運動）

●記憶と学習の心理学

きれいに整理されたノート。色とりどりの蛍光ペン。しっかり勉強しているはずなのに、なぜか中身が頭に入っていない。そんな経験はありませんか？ 効率のよい記憶にはちょっとしたコツがあります。学習心理学の視点から、効率の良い勉強方法を考えてみましょう。

担当：鎌田 雅史（准教授 担当科目：保育の心理学、教育心理学、心理学 他）

●『チームで援助するとは？』

ここ最近、様々な業種で「チーム〇〇」といった言葉が聞かれます。これまでは、各専門性によってそれぞれで援助をしてきましたが、最近は病院や学校で、様々な専門家や役割の人の強みを活かした援助が

求められるようになっていきます。本講座では、そんなチームについて、演習等を通じて、チームで仕事を行う意義や、課題点を学んでもらおうと思います。

担当：荊木 まき子（准教授 担当科目：教育相談、子ども家庭支援の心理学、保育所・施設実習）

●『いろいろなリトミック♪』

子どもが楽しんで参加できるいろいろなリトミックの方法を紹介します。音楽リズムに合わせて実際に動いたり楽器を鳴らしたりしながら体験しましょう。一人ずつの活動からグループ活動、大人数での活動まで幅広く行います。動きやすい恰好でご参加ください。

担当:山下 世史佳(講師 担当科目：保育内容「表現」の指導法Ⅱ 幼児と音楽Ⅱ・Ⅲ・Ⅵ・Ⅶ 他)

生活実践科学科

■「ら抜き」って何？

時々メディアで「若い人のら抜き」が取り上げられています。ところで、「ら抜き」は正確にはどのような現象を指すのでしょうか。岡山育ちの人にはピンとこないはずです。

担当 森安 秀之（教授 担当科目：英語 他）

■短歌一創作・鑑賞入門／郷土ゆかりの文学者

高校生を対象として、短歌の創作を基礎から指導します。地元ゆかりの文学者（倉敷市連島出身の詩人・薄田泣菫など）についてもお話出来ます。

担当：加藤 美奈子（教授 担当科目：日本語表現法、近現代文学講義 他）

■おいしさの秘密に迫る—うま味の発見とだし

食事の際に、おいしさを判断する決め手となるのが、うま味などの基本味です。うま味とその発見につながった日本の伝統的なだしについてお話をします。

担当：三宅 統（准教授 担当科目：栄養学 他）

■ファッションデザイン入門:ペーパーファッション制作

私たちの生活に密着している衣服の成り立ちや歴史をコンパクトに解説しながら、実際にトルソを使って紙という身近な素材を使いイメージを造形にする「ペーパーファッション」ドレス作りに挑戦してみましょう。

※約 20 人までのワークショップ形式（グループワーク）、材料費等については要相談。

担当: 久保 美沙登（准教授 担当科目:ファッションデザイン実習 他）

■国際化時代にむけた健康情報：健康生活を送るために

日本の病院等をはじめとする医療機関の国際化がどんどん進んでいます。情報が入手しやすくなった今と昔とでは大きく生活が変化しています。これからどんなことを考え情報を入手すべきか考えましょう。

担当: 大友 達也 (教授 担当科目:医療関係法規概論 他)

■卵白の起泡性

卵は泡立て器で攪拌すると空気を含み泡を形成します。この性質を起泡性といいます。

卵白の泡立ちについて、原理や起泡性に影響を与えるものについて学びましょう。

担当: 渡邊 智美 (准教授 担当科目:調理実習 他)